

2020年度 第3四半期決算説明資料

2021年2月9日
出光興産株式会社

決算サマリー

■ 2020年度 第3四半期決算 概要

- ✓ 20年度第3四半期のセグメント利益※は、引き続き在庫影響を主因として減益
※セグメント利益 = 営業 + 持分利益
- ✓ 在庫影響除きのセグメント利益 (4-12月)では、コロナ影響による石油製品などの需要減や資源価格下落に伴う資源事業の収益減少等を受け、前年比239億円の減益
- ✓ なお、10-12月の在庫影響除きセグメント利益は、燃料油及び一部の高機能材の需要回復などにより、前年から増益を確保

[億円]

	19年度3Q	20年度3Q	増減
営業 + 持分利益	875	134	▲ 741
(在庫影響)	(▲ 93)	(▲ 594)	(▲ 501)
(在庫影響除き)	(967)	(728)	(▲ 239)
当期純利益	649	▲ 75	▲ 724
(在庫影響除き)	(713)	(337)	(▲ 377)

決算サマリー

■ 2020年度 業績見通し 概要

- ✓ 20年度業績見通しにおけるセグメント利益は、2月以降のアラビアンライト原油価格前提を\$51/bblとしたことなどから、前回公表比600億円の増益を見込む
- ✓ 当期純利益は、資源セグメントにおける減損損失を織込んだこと等から前回公表比350億円の増益になる見込み
- ✓ 前提価格や事業環境の見直しを実施した結果、セグメント利益、当期純利益とも黒字転換を予想

[億円]

	11/10公表	今回見通し	増減
営業 + 持分利益	▲ 50	550	+600
(在庫影響)	(▲500)	(▲100)	(+400)
(在庫影響除き)	(450)	(650)	(+200)
当期純利益	▲ 200	150	+350
(在庫影響除き)	(150)	(220)	(+70)

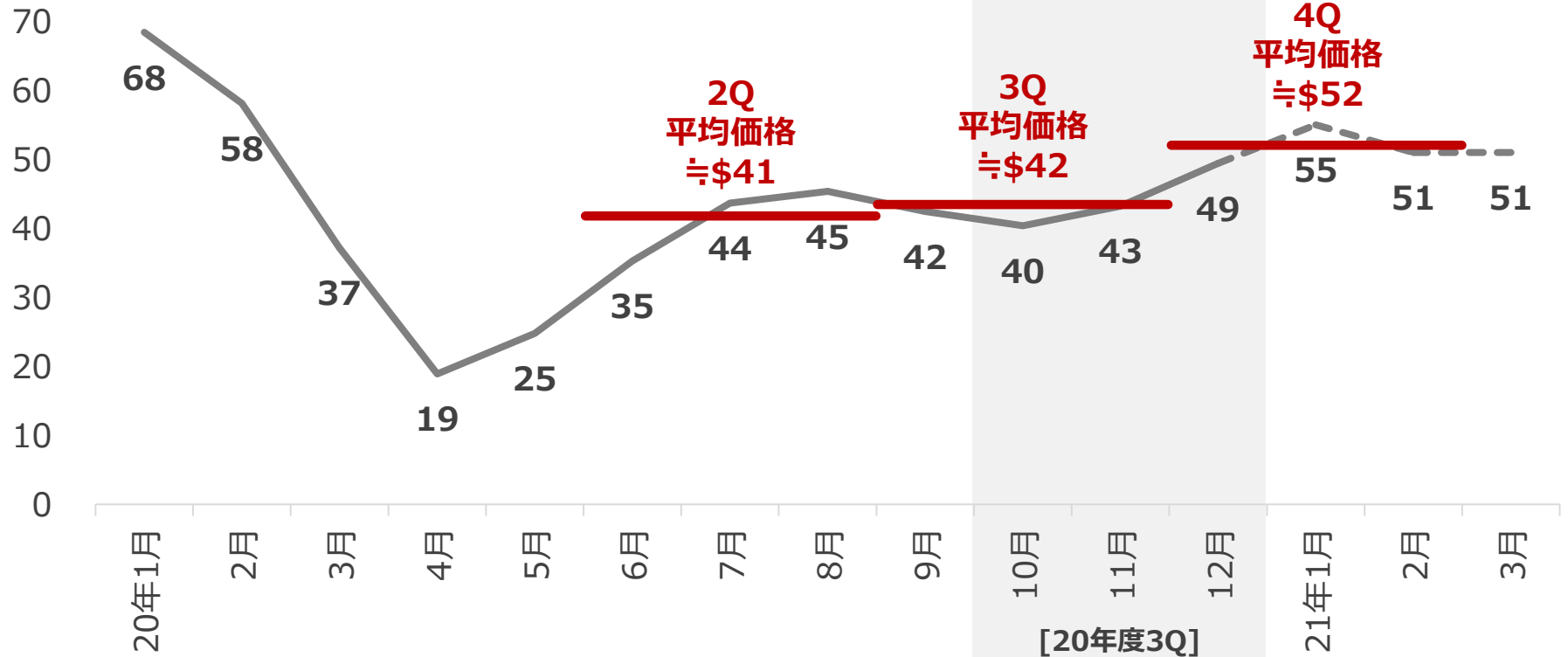
■ 2020年度 配当予想

中間配当 **60円** 期末配当予想 **60円** 年間配当予想 **120円** ※前回公表から変更なし

在庫影響

原油(アラビアンライト)価格推移

[USD/バレル]



- ✓ 原油価格は2Qから3Qにかけて概ね同水準で推移しており、3Q在庫影響は2Q水準並みの594億円の損失を計上
- ✓ 通期の在庫影響は4Qの原油価格上昇により100億円の損失まで縮小する見込み

トピックス

■ 新型コロナウイルス拡大による当社事業への主な影響

- ✓ 燃料油主要4品およびJET燃料の販売数量は3Q(10-12月)において回復傾向も、1月の緊急事態宣言の再発令を受け今後の需要動向は注視が必要

	1Q実績	2Q実績	上期実績	3Q実績	4Q見通し
主要4品	87.8	89.9	88.8	98.8	98.2
JET燃料	23.5	43.1	32.2	55.7	53.5

※当社販売伸長率(前年比)

- ✓ 世界各国の経済正常化への動きに合わせ、自動車生産回復等に伴う一部の高性能材需要の増加、資源価格の上昇がみられるが、石油製品や基礎化学品の国際市況は依然厳しい状況

■ ベトナム ニソン製油所の状況

- ✓ シンガポール製品市況の低迷、2020年1-3月の原油急落によるタイムラグ・在庫影響も残り、厳しい収支状況が継続
- ✓ 製油所稼働は引続き安定操業を維持

トピックス

■ 新たなサービスステーションブランド「apollostation」を、2021年4月から展開

- ✓ 「apollostation」は、“モビリティとコミュニティの未来を見つめながら、地域社会を支えるライフパートナー”をコンセプトとし、地域の人々の暮らしと移動を支える様々なサービスを展開する未来志向のSS



■ 徳山事業所に高効率ナフサ分解炉を新設

- ✓ 高効率ナフサ分解炉は、従来の分解炉と比較し約30%の省エネルギー効果が発揮でき、年間約16,000トンのCO2削減に寄与
- ✓ 今後、試運転期間を経て、2021年2月に商業運転を開始する予定

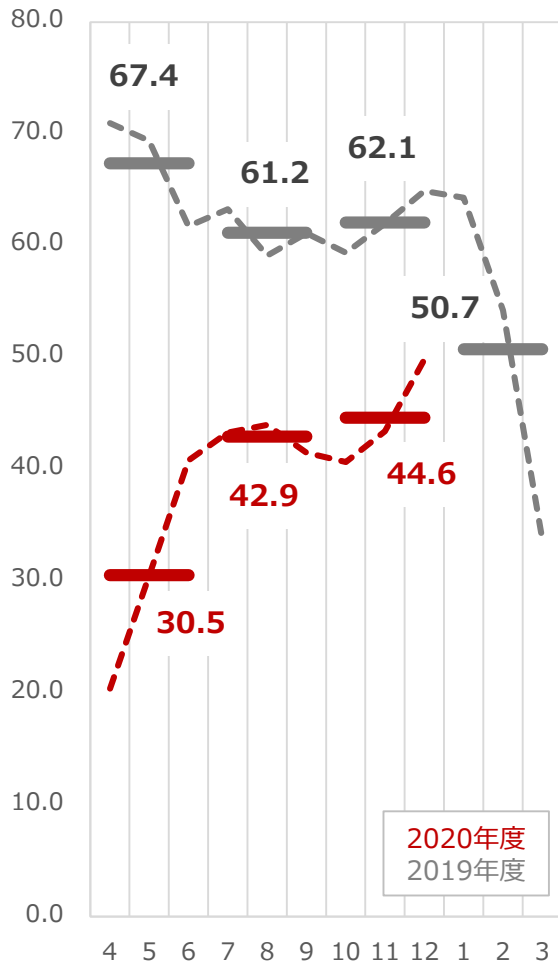
■ ESG投資指数「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」の構成銘柄に採用

- ✓ ESG評価に優れた企業を選別して構築されているMSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数に採用（2020年12月）
- ✓ 今後も環境課題、社会課題の解決に向けてグループ全体で尽力し、ESGの強化と持続可能な社会の発展に貢献することを目指す

事業環境

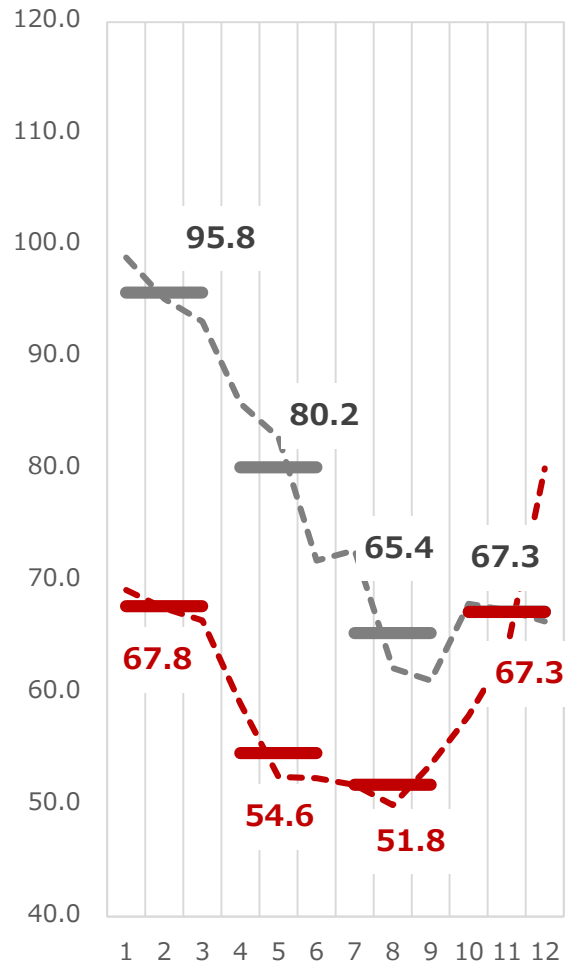
ドバイ原油価格

[USD/バレル]



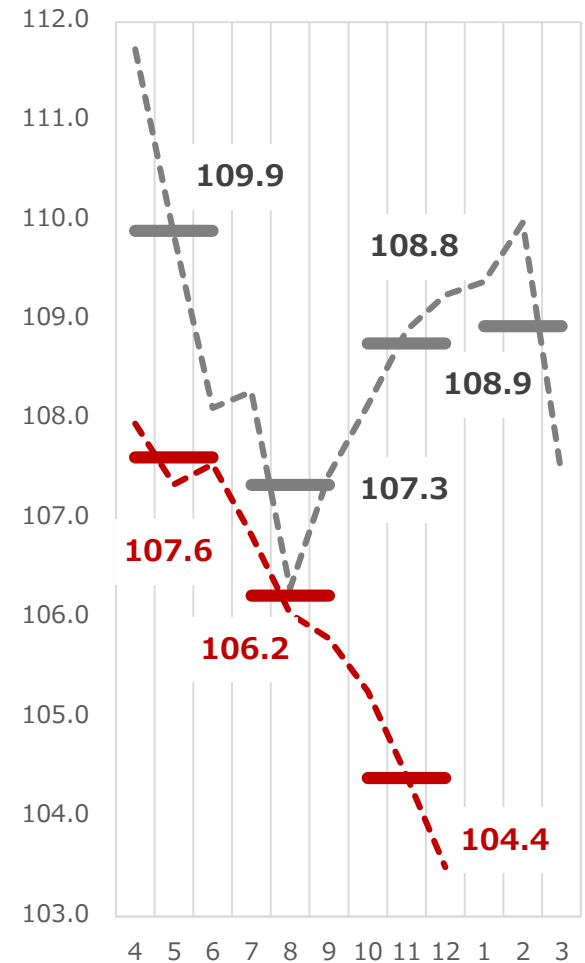
豪州一般炭スポット価格

[USD/トン]



為替レート(USD)

[円/USD]



決算概要

■ 原油、石炭価格および為替レート

[USD/バレル、USD/トン、円/USD]

	19年度3Q	20年度3Q	増減	
ドバイ原油価格	63.5	39.4	▲ 24.1	▲ 38.0%
ブレント原油価格*	64.9	40.8	▲ 24.1	▲ 37.1%
豪州一般炭スポット価格*	81.3	58.1	▲ 23.2	▲ 28.5%
為替レート	108.7	106.1	▲ 2.6	▲ 2.4%

*ブレント原油価格及び豪州一般炭価格は1-9月平均

■ 連結損益計算書ハイライト

[億円]

	19年度3Q	20年度3Q	増減	
売上高	45,607	32,113	▲ 13,494	▲ 29.6%
営業利益	1,082	493	▲ 588	▲ 54.4%
(内 在庫評価損益)	(▲93)	(▲594)	(▲501)	—
持分法投資損益	▲ 207	▲ 360	▲ 152	—
営業+持分	875	134	▲ 741	▲ 84.7%
(在庫影響除き)	(967)	(728)	(▲239)	(▲24.8%)
経常利益	914	146	▲ 768	▲ 84.1%
特別損益	114	▲ 91	▲ 205	—
当期純利益	649	▲ 75	▲ 724	—
(在庫影響除き)	(713)	(337)	(▲377)	(▲52.8%)

セグメント別情報

■ 営業利益 + 持分法投資損益

[億円]

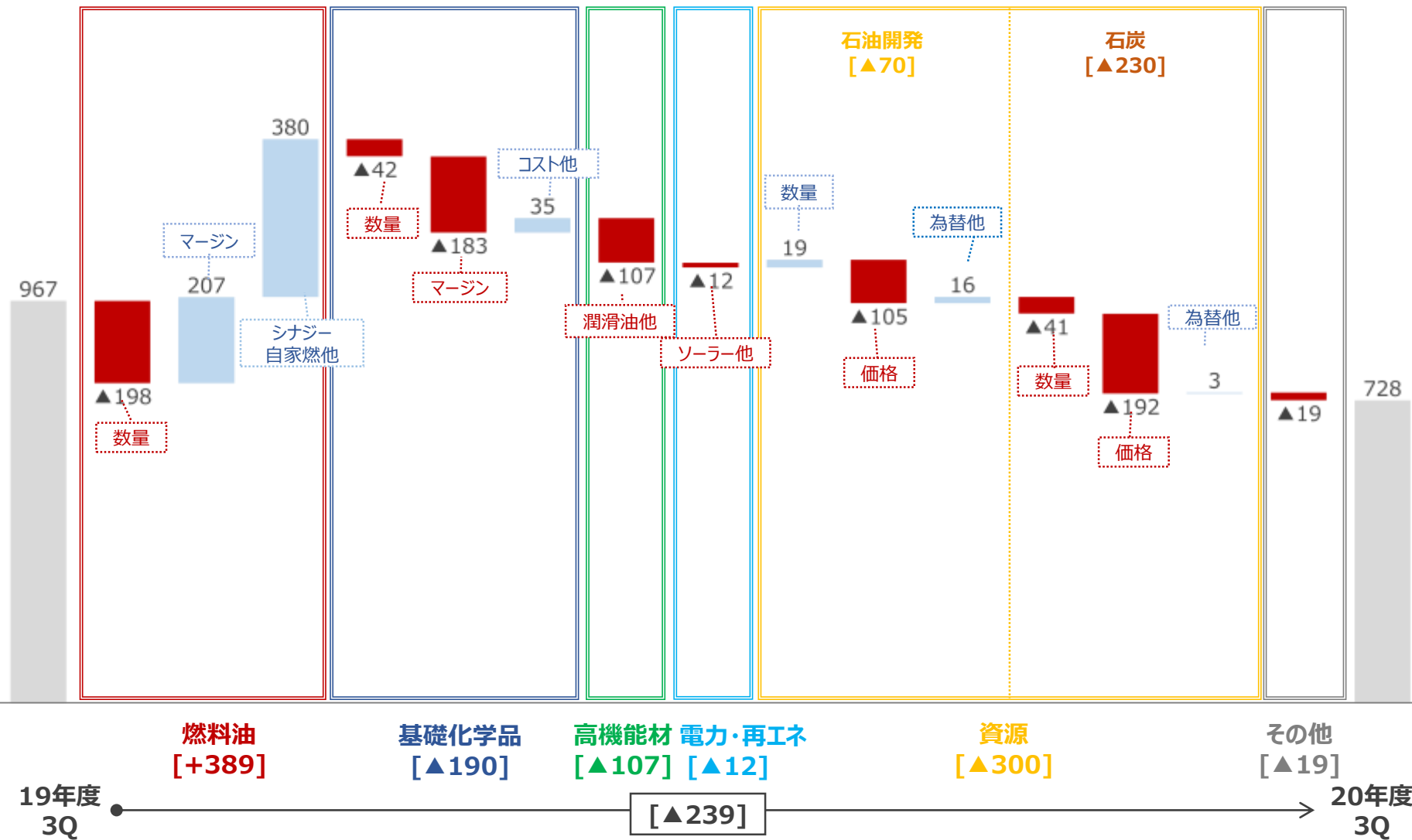
	19年度3Q	20年度3Q	増減	
燃料油	168	55	▲ 113	▲ 67.1%
(在庫影響除き)	(261)	(649)	(+389)	(+149.2%)
基礎化学品	180	▲ 10	▲ 190	—
高機能材	202	95	▲ 107	▲ 52.9%
電力・再生可能エネルギー	▲ 5	▲ 17	▲ 12	—
資源*	345	45	▲ 300	▲ 86.9%
(内 石油開発)	(122)	(52)	(▲70)	(▲57.2%)
(内 石炭)	(223)	(▲7)	(▲230)	—
その他	▲ 15	▲ 35	▲ 19	—
セグメント合計	875	134	▲ 741	▲ 84.7%
(在庫影響除き)	(967)	(728)	(▲239)	(▲24.8%)

*資源に含まれる石油開発及び石炭は12月決算

セグメント別情報

■ 営業利益 + 持分法投資損益増減分析 (在庫影響除き、前年比)

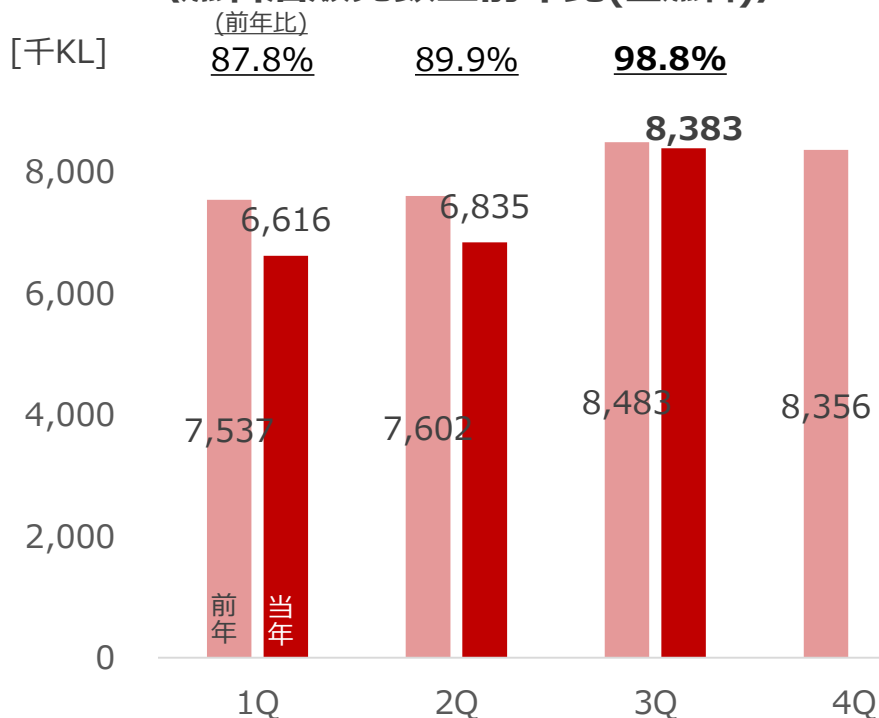
[億円]



セグメント別情報

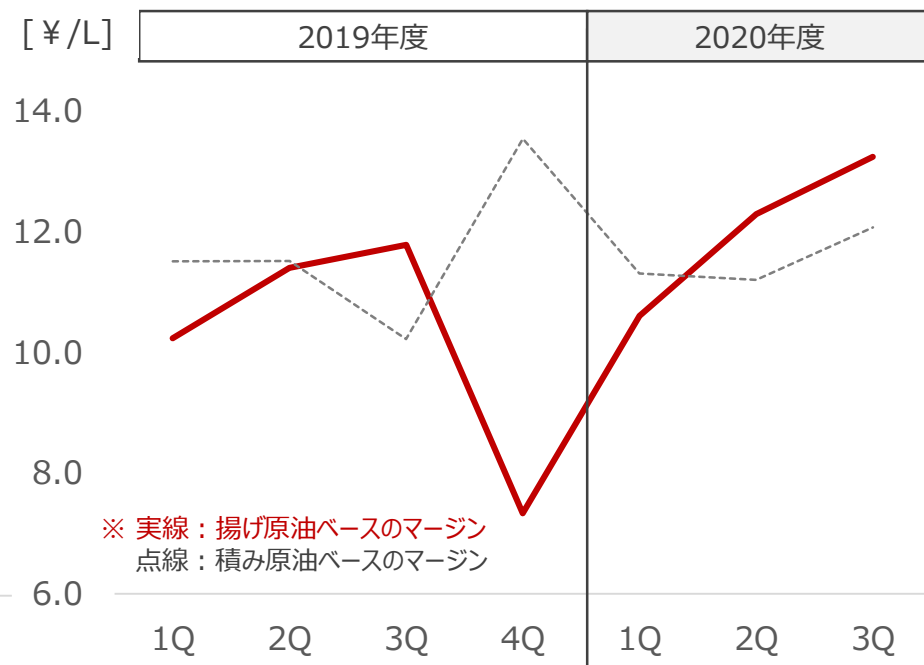
[燃料油] 前年比 + 389億円 (2019年度3Q : 261億円 ➡ 2020年度3Q : 649億円)

〈燃料油販売数量前年比(主燃料)〉



〈国内石油製品マージン*推移〉

*ガソリン・軽油・灯油・A重油の加重平均マージン(国内スポット-原油)



- ✓ 主燃料の販売数量は暖房需要(灯油)も加わり回復傾向
- ✓ 製品マージンは前年対比で改善を維持
- ✓ 上記の他、統合シナジーや自家燃コスト減が寄与し、持分法投資損失、JET燃料減販等の影響を上回り増益

セグメント別情報

[基礎化学品] 前年比▲190億円 (2019年度3Q : 180億円 ➡ 2020年度3Q : ▲10億円)

✓ パラキシレン・スチレンモノマーの製品マージン縮小等により減益

[USD/トン]

製品	19年度3Q		20年度3Q		増減	
	製品価格	マージン	製品価格	マージン	製品価格	マージン
PX	840	316	534	174	▲306	▲142
MX	701	176	432	72	▲269	▲104
SM	982	457	737	377	▲245	▲80

[高機能材] 前年比▲107億円 (2019年度3Q : 202億円 ➡ 2020年度3Q : 95億円)

✓ 自動車生産の回復等に伴い潤滑油や機能化学品で販売数量に改善がみられるものの、収益面では厳しい状況が継続

[電力・再エネ] 前年比▲12億円 (2019年度3Q : ▲5億円 ➡ 2020年度3Q : ▲17億円)

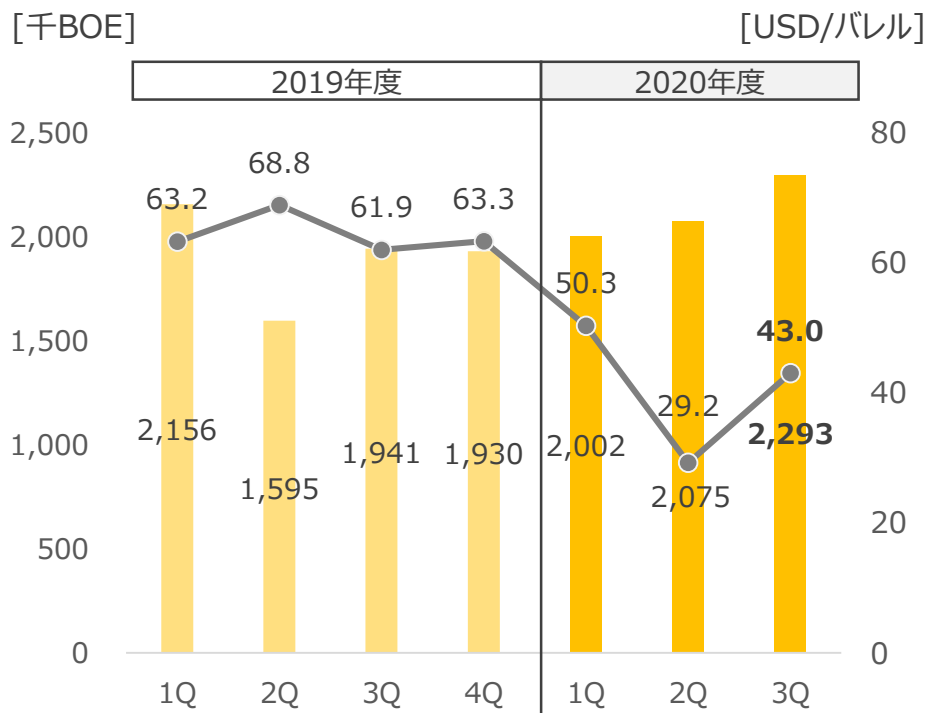
✓ 電力事業は前年並みの収益水準となった一方、ソーラー事業においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け販売数量減少及び単価下落により減益

セグメント別情報

[石油開発] 前年比▲70億円

(2019年度3Q : 122億円 → 2020年度3Q : 52億円)

〈原油生産数量・ブレント原油価格推移〉

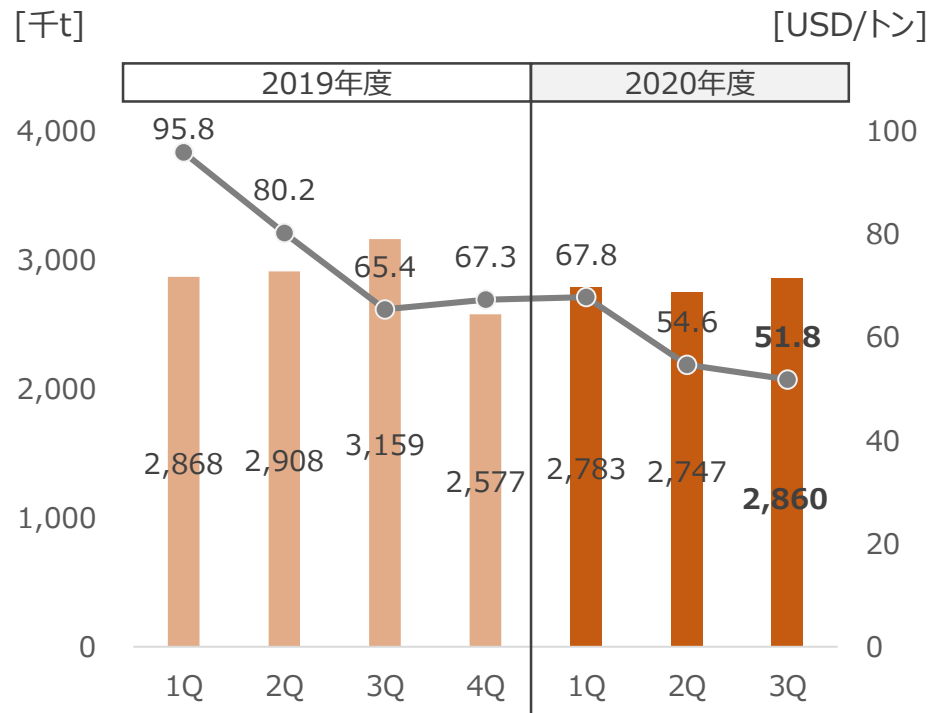


✓ 原油価格下落による価格要因等により減益

[石炭] 前年比▲230億円

(2019年度3Q : 223億円 → 2020年度3Q : ▲7億円)

〈石炭生産数量・豪州一般炭スポット価格推移〉



✓ 石炭市況下落による価格要因等により減益

財務状況

[億円]

	20/3末	20/12末	増減		20/3末	20/12末	増減
現金・預金	1,322	1,001	▲ 321	流動負債計	16,484	16,144	▲ 340
売掛債権 たな卸資産等	14,181	14,280	+99	固定負債計	10,380	11,030	+651
流動資産計	15,503	15,281	▲ 222	負債合計	26,864	27,174	+310
有形固定資産	14,781	15,087	+306	株主資本 その他の包括利益累計	11,500	11,011	▲ 489
その他固定資産	8,585	8,343	▲ 242	非支配株主持分	506	526	+20
固定資産計	23,366	23,430	+64	純資産計	12,006	11,538	▲ 468
総資産計	38,869	38,712	▲ 157	負債・純資産計	38,869	38,712	▲ 157

ネットD/Eレシオ	1.05	1.12	+0.07
有利子負債計	13,363	13,280	▲83
自己資本比率	29.6%	28.4%	▲1.1%

業績見通し概要

■ 原油、石炭価格および為替レート

[USD/バレル、USD/トン、円/USD]

	11/10公表	今回見通し	増減		1月以降前提
トバイ原油価格	38.4	42.4	+4.0	+10.4%	51.5
ブレント原油価格*	42.6	41.7	▲ 0.9	▲ 2.2%	—
豪州一般炭スポット価格*	56.6	60.4	+3.8	+6.7%	—
為替レート	106.0	105.7	▲ 0.2	▲ 0.2%	105.0

*ブレント原油価格及び豪州一般炭価格は1-12月平均

■ 連結損益計算書ハイライト

[億円]

	11/10公表	今回見通し	増減	
売上高	43,000	45,000	+2,000	+4.7%
営業利益	350	950	+600	+171.4%
(内 在庫評価損益)	(▲500)	(▲100)	(+400)	—
持分法投資損益	▲ 400	▲ 400	0	—
営業+持分	▲ 50	550	+600	—
(在庫影響除き)	(450)	(650)	(+200)	(+44.4%)
経常利益	▲ 20	570	+590	—
特別損益	▲ 20	▲ 200	▲ 180	—
当期純利益	▲ 200	150	+350	—
(在庫影響除き)	(150)	(220)	(+70)	(+46.7%)

セグメント別情報

■ 営業利益 + 持分法投資損益

[億円]

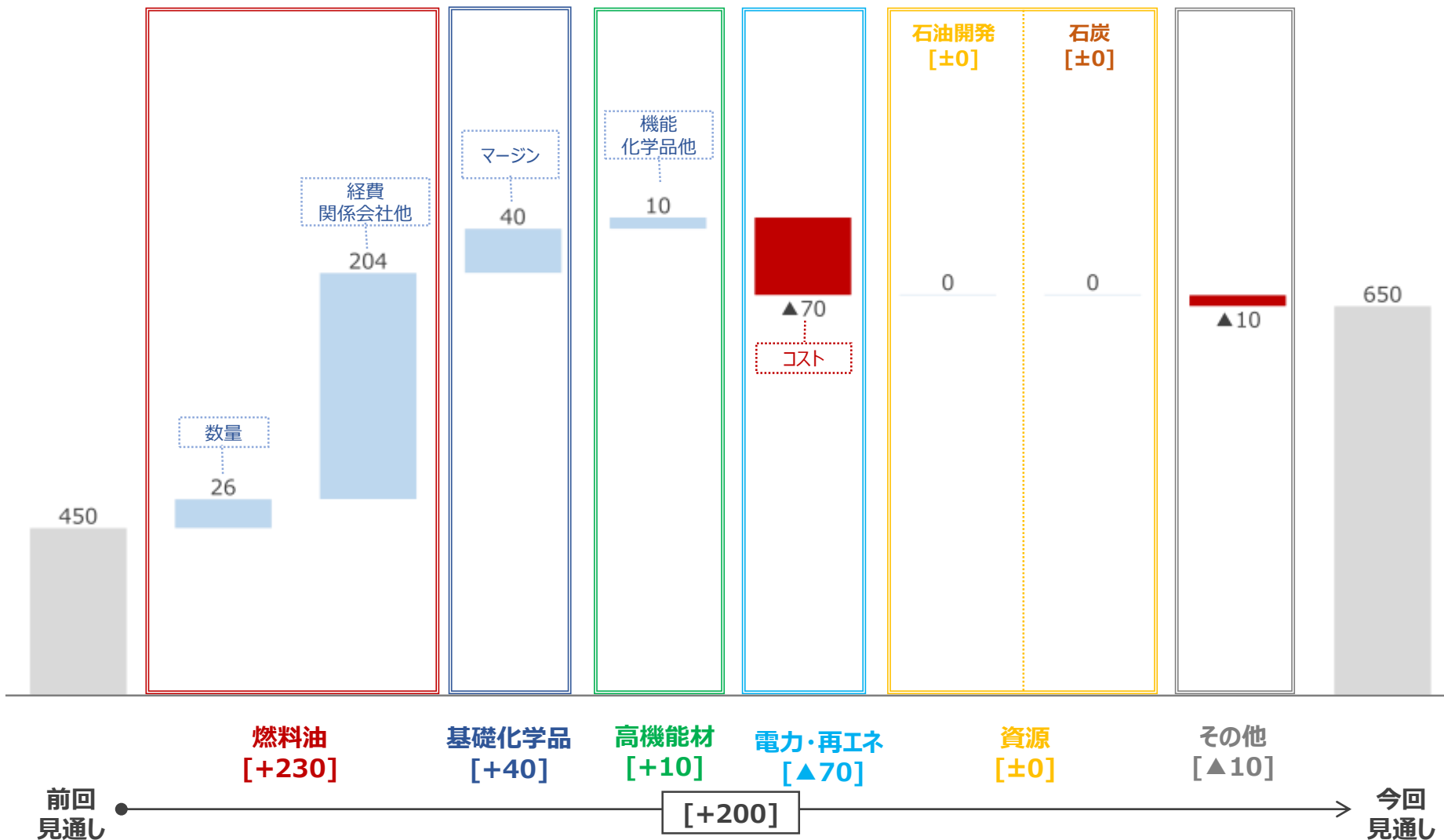
	11/10公表	今回見通し	増減	
燃料油	▲ 30	600	+630	-
(在庫影響除き)	(470)	(700)	(+230)	(+48.9%)
基礎化学品	▲ 60	▲ 20	+40	-
高機能材	100	110	+10	+10.0%
電力・再生可能エネルギー	▲ 50	▲ 120	▲ 70	-
資源*	20	20	-	-
(内 石油開発)	(40)	(40)	-	-
(内 石炭)	(▲ 20)	(▲ 20)	-	-
その他	▲ 30	▲ 40	▲ 10	-
セグメント合計	▲ 50	550	+600	-
(在庫影響除き)	(450)	(650)	(+200)	(+44.4%)

*資源に含まれる石油開発及び石炭は12月決算

セグメント別情報

■ 営業利益 + 持分法投資損益増減分析 (在庫影響除き、前回公表比)

[億円]



セグメント別情報

[燃料油] 前环比+230億円 (11/10公表：470億円 ➡ 今回見通し：700億円)

- ✓ 主燃料の販売数量は足元のコロナ再拡大や寒波影響を織込み、前环比では若干の増販
- ✓ 製品マージンは前回水準並を見込む
- ✓ 上記の他、コスト削減や関係会社収益を上方修正したことから前回公表比増益の見通し

[基礎化学品] 前环比+40億円 (11/10公表：▲60億円 ➡ 今回見通し：▲20億円)

- ✓ スチレンモノマーの製品マージン拡大等を見込み増益

[高機能材] 前环比+10億円 (11/10公表：100億円 ➡ 今回見通し：110億円)

- ✓ 自動車向けをはじめとした機能化学品の需要回復を想定し、前回公表比10億円の増益を見込む

[電力・再エネ] 前环比▲70億円 (11/10公表：▲50億円 ➡ 今回見通し：▲120億円)

- ✓ JEPX市況高騰による市場調達コストの上昇影響を一定程度織込み、前回公表比70億円の減益を見込む

参考資料

セグメント概要

■ 燃料油

- 原油処理能力 **94.5万バレル /日** *1)
- 国内燃料油販売量 **4,100万KL /年**
- SS数 **6,400カ所**

■ 基礎化学品

(生産能力)

- エチレン **100万t /年**
- パラキシレン **142万t /年** *2)
- スチレンモノマー **79万t /年**

■ 電力・再生可能エネルギー

- 発電能力 **1.2GW**
- うち 再生可能エネルギー **0.2GW**
- 太陽電池生産能力 **1GW /年**

■ 高機能材

潤滑油、機能化学品、電子材料、
高機能アスファルト、アグリバイオ、固体電解質

- 潤滑油販売量 **120万KL /年** *3)

(機能化学品生産能力)

- エンジニアリングプラスチック **15万t /年**
- 粘接着基材 **7.5万t /年**
- 有機EL材料生産能力 **10t /年**

■ 資源

- 原油生産量 **2.1万バレル /日**
- 一般炭生産量 **1,200万t /年**

*1) 石油製品取引契約を締結する富士石油株式会社の原油処理能力を加えると109万バレル/日

*2) ミックスキシレンの生産能力を含む数値

*3) シェルブルピカンツジャパン株式会社の販売量を除いた数値

決算関連

■ セグメント別売上高

[億円]

	19年度3Q	20年度3Q	増減	
燃料油	36,304	25,096	▲ 11,208	▲ 30.9%
基礎化学品	3,500	2,226	▲ 1,274	▲ 36.4%
高機能材	2,940	2,517	▲ 423	▲ 14.4%
電力・再生可能エネルギー	946	902	▲ 44	▲ 4.6%
資源*	1,890	1,324	▲ 566	▲ 30.0%
(内 石油開発)	(359)	(234)	(▲124)	(▲34.6%)
(内 石炭)	(1,531)	(1,089)	(▲442)	(▲28.9%)
その他	28	49	+21	+76.5%
セグメント合計	45,607	32,113	▲ 13,494	▲ 29.6%

*資源に含まれる石油開発及び石炭は12月決算

決算関連

■ セグメント利益四半期推移（累計・在庫影響除き）

[億円]

	19年度1Q	19年度2Q	19年度3Q	19年度	20年度1Q	20年度2Q	20年度3Q
燃料油セグメント	35	154	261	▲ 201	▲ 94	273	649
持分法投資損益	▲ 27	▲ 149	▲ 260	▲ 327	▲ 272	▲ 288	▲ 372
基礎化学品セグメント	59	143	180	119	1	▲ 20	▲ 10
持分法投資損益	4	9	11	16	3	4	7
高機能材セグメント	64	137	202	284	48	62	95
持分法投資損益	4	8	12	19	1	▲ 3	▲ 1
電力・再生可能エネルギーセグメント	8	4	▲ 5	▲ 5	1	▲ 5	▲ 17
持分法投資損益	0	▲ 0	3	6	▲ 1	▲ 2	▲ 1
資源セグメント							
-石油開発	67	86	122	178	22	25	52
持分法投資損益	-	-	-	-	-	-	-
-石炭	95	178	223	240	10	11	▲ 7
持分法投資損益	1	4	7	9	4	7	6
その他セグメント	▲ 18	▲ 6	▲ 15	15	▲ 19	▲ 21	▲ 35
持分法投資損益	6	13	19	54	▲ 4	▲ 0	1
セグメント合計	311	697	967	631	▲ 31	326	728
持分法投資損益	▲ 13	▲ 116	▲ 207	▲ 224	▲ 267	▲ 283	▲ 360

販売数量実績

■ 燃料油セグメント

[千KL,%]

	19年度3Q	20年度3Q	増減	
ガソリン	10,902	9,706	▲ 1,197	▲ 11.0%
ナフサ	207	222	+15	+7.3%
ジェット燃料	3,869	1,507	▲ 2,363	▲ 61.1%
灯油	2,293	2,400	+108	+4.7%
軽油	8,089	7,429	▲ 659	▲ 8.2%
A重油	2,338	2,298	▲ 40	▲ 1.7%
C重油	2,566	2,310	▲ 255	▲ 9.9%
国内燃料油販売計	30,264	25,873	▲ 4,392	▲ 14.5%
輸出燃料油	2,666	2,127	▲ 539	▲ 20.2%
燃料油販売計	32,930	28,000	▲ 4,931	▲ 15.0%

販売数量実績

■ 基礎化学品セグメント

[千t,%]

	19年度3Q	20年度3Q	増減	
基礎化学品	2,961	2,647	▲ 314	▲ 10.6%

■ 高機能材セグメント

[千KL,千t,%]

	19年度3Q	20年度3Q	増減	
潤滑油	897	780	▲ 117	▲ 13.0%
機能化学品	464	446	▲ 18	▲ 3.9%

※潤滑油は海外ライセンス販売先を含む
 ※潤滑油販売量はシェルブリーカンツジャパン株式会社の販売量を除く

■ 電力・再生可能エネルギーセグメント

[百万kwh,%]

	19年度3Q	20年度3Q	増減	
電力小売販売量	2,180	2,693	+513	+23.5%

※19年度3Qの公表販売量に一部集計漏れがあったため数値を修正して掲載

生産数量実績

■ 資源セグメント (石油開発生産量)

[千BOED,%]

	19年度3Q	20年度3Q	増減	
ノルウェー	20.9	23.2	+2.3	+11.0%
生産量合計 (千BOED)	20.9	23.2	+2.3	+11.0%
生産量合計 (千BOE)	5,692	6,370	+678	+11.9%

※数値は資源開発子会社の保有権益ベース

■ 資源セグメント (石炭生産量)

[千t,%]

	19年度3Q	20年度3Q	増減	
エンシャム	3,123	3,046	▲ 77	▲ 2.5%
マッセルブルック	826	682	▲ 144	▲ 17.4%
ボガブライ	4,047	3,709	▲ 338	▲ 8.4%
豪州石炭 合計	7,996	7,436	▲ 560	▲ 7.0%
マリナウ	939	954	+15	+1.6%
生産量 合計	8,935	8,390	▲ 545	▲ 6.1%

※数値は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および石炭は12月決算

販売数量見通し

■ 燃料油セグメント

[千KL,%]

	11/10公表	今回見通し	増減	
ガソリン	12,710	12,630	▲ 80	▲0.6%
ナフサ	280	280	—	—
ジェット燃料	1,900	2,100	+200	+10.5%
灯油	4,250	4,330	+80	+1.9%
軽油	9,780	9,800	+20	+0.2%
A重油	3,150	3,280	+130	+4.1%
C重油	3,190	3,320	+130	+4.1%
国内燃料油販売計	35,260	35,740	+480	+1.4%
輸出燃料油	4,210	3,420	▲ 790	▲ 18.8%
燃料油販売計	39,470	39,160	▲ 310	▲0.8%

販売数量見通し

■ 基礎化学品セグメント

[千t,%]

	11/10公表	今回見通し	増減	
基礎化学品	3,760	3,660	▲100	▲2.7%

■ 高機能材セグメント

[千KL,千t,%]

	11/10公表	今回見通し	増減	
潤滑油	1,070	1,060	▲10	▲0.9%
機能化学品	610	620	+10	+1.6%

※潤滑油は海外ライセンス販売先を含む
 ※潤滑油販売量はシェルブリアンツジャパン株式会社の販売量を除く

■ 電力・再生可能エネルギーセグメント

[百万kwh,%]

	11/10公表	今回見通し	増減	
電力小売販売量	3,500	3,680	+180	+5.1%

生産数量見通し

■ 資源セグメント (石油開発生産量)

[千BOED,%]

	11/10公表	今回見通し	増減	
ノルウェー	22.9	23.0	+0.1	+0.5%
ベトナム	0.3	0.9	+0.3	+244.2%
生産量合計 (千BOED)	23.2	23.9	+0.7	+3.2%
生産量合計 (千BOE)	8,460	8,750	+290	+3.3%

※数値は資源開発子会社の保有権益ベース

■ 資源セグメント (石炭生産量)

[千t,%]

	11/10公表	今回見通し	増減	
エンシャム	4,450	4,040	▲ 410	▲ 9.2%
マッセルブルック	1,180	1,010	▲ 170	▲ 14.4%
ボガブライ	5,240	5,120	▲ 120	▲ 2.3%
豪州石炭 合計	10,870	10,170	▲ 700	▲ 6.4%
マリナウ	1,200	1,200	—	—
生産量 合計	12,070	11,370	▲ 700	▲ 5.8%

※数値は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および石炭は12月決算

感応度

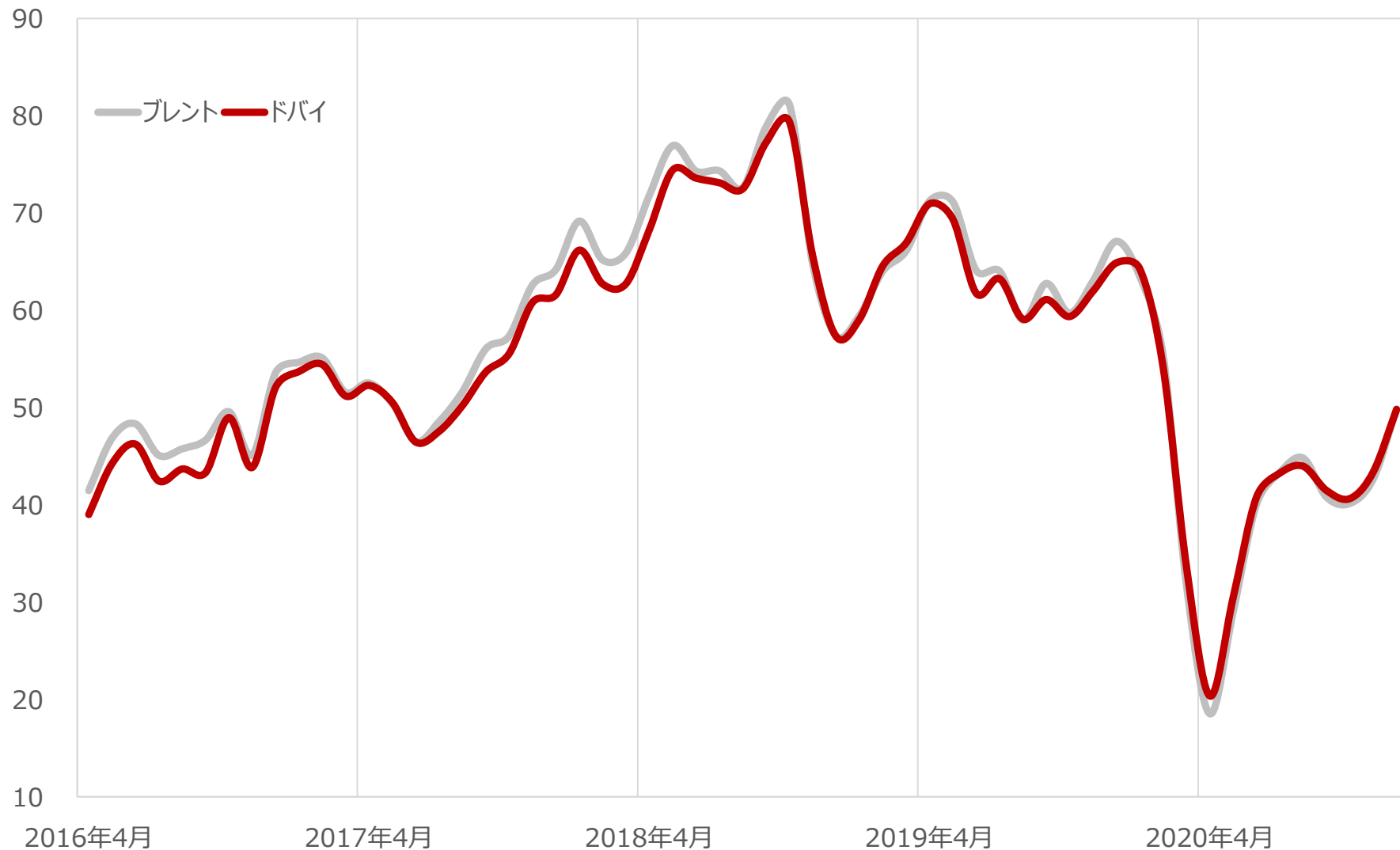
■ 原油価格、為替の変動による収支影響(年間)

項目	変動幅	感応度
原油	1 \$/バレル下落	燃料油 ▲40億円 (精製用燃料費 +10億円) (在庫評価影響 ▲50億円)
		石油開発 ▲10億円
為替	1 円/\$円高	燃料油 ▲25億円 (精製用燃料費 +5億円) (在庫評価影響 ▲30億円)
		基礎化学品 ▲5億円

※上記の他に、資源事業において、ノルウェークローネ・豪ドルの為替変動影響を受けます

原油価格（ドバイ原油・ブレント原油）

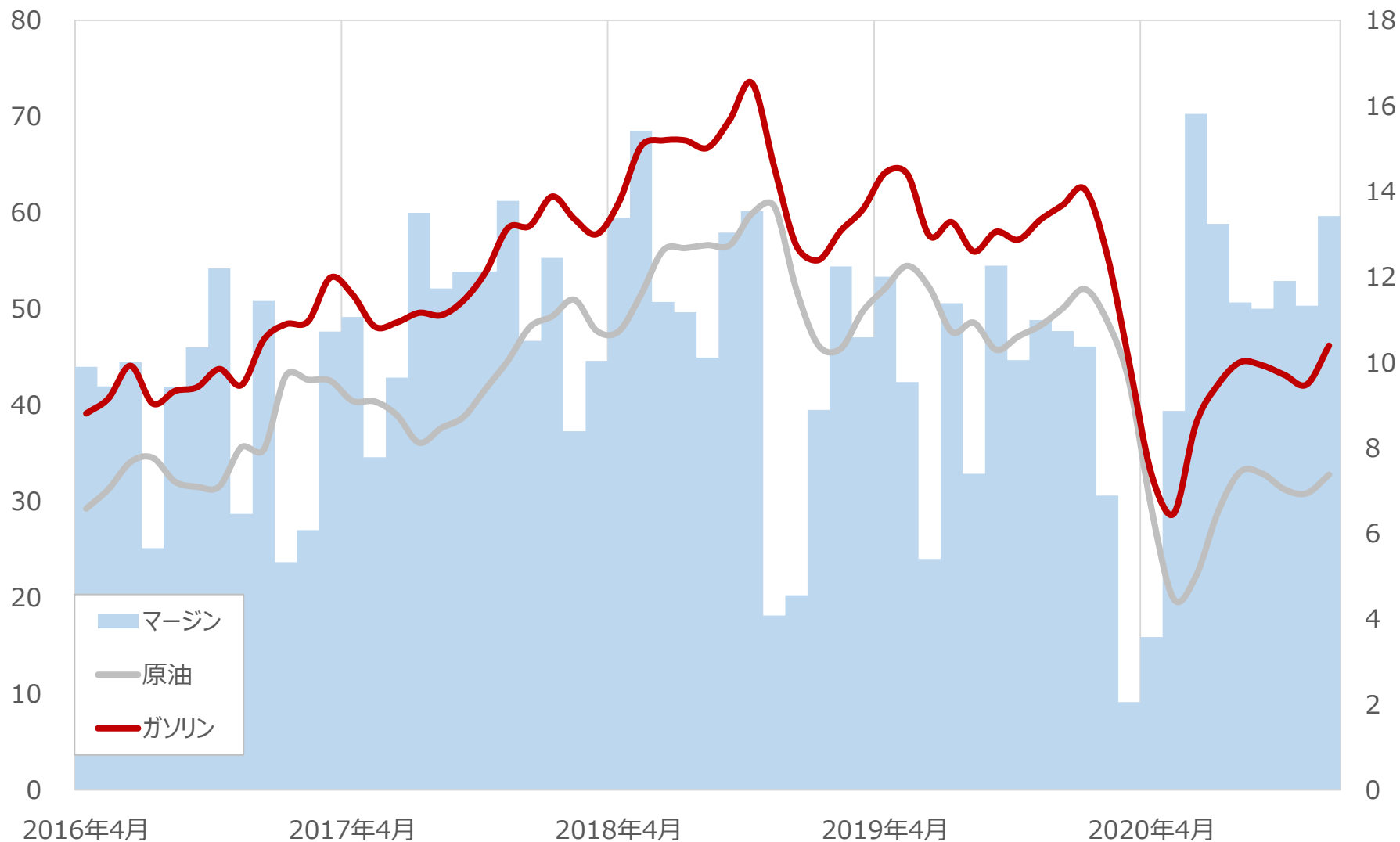
[USD/バレル]



ガソリン（国内スポット価格 - 原油）

[原油・製品：円/リットル]

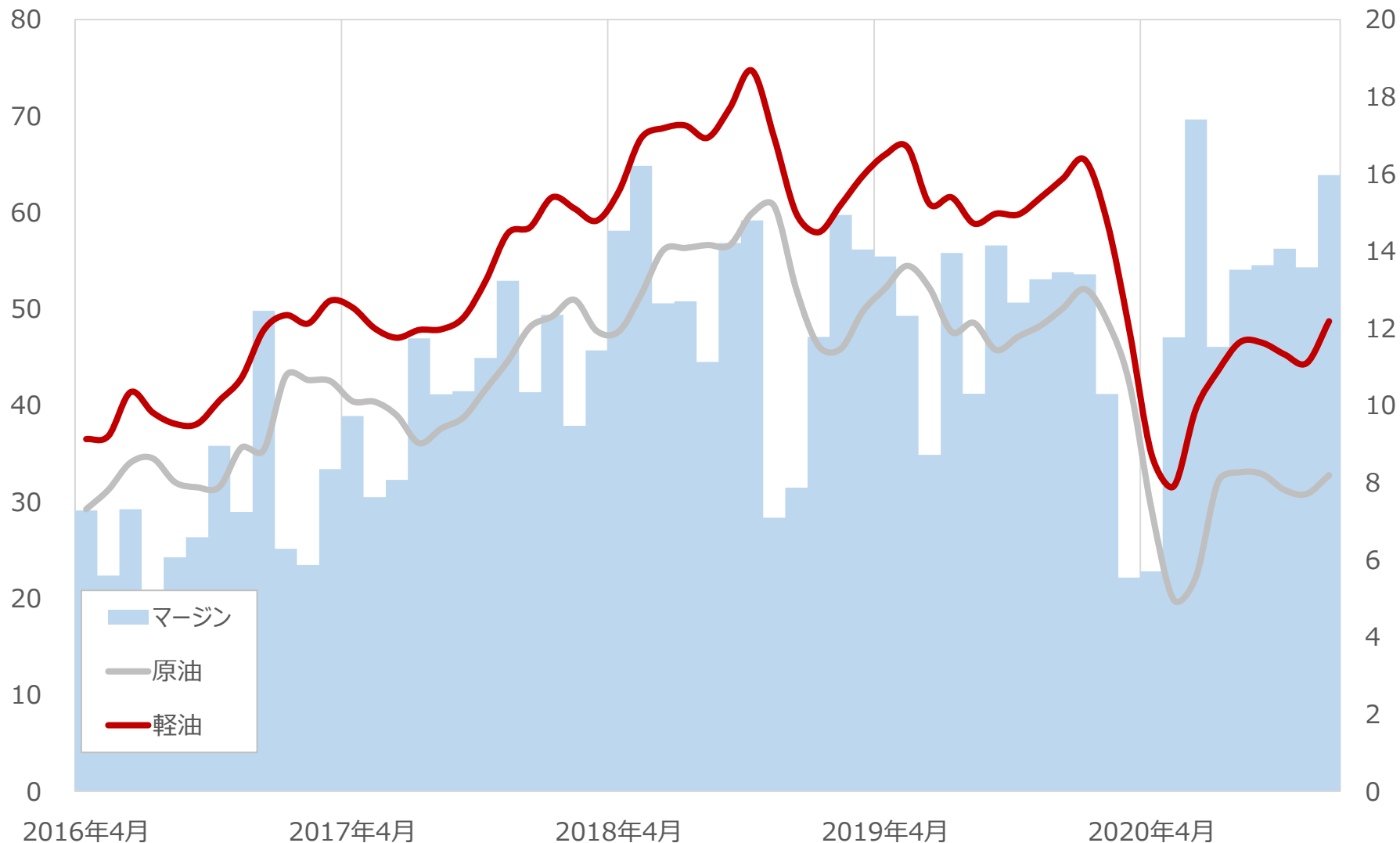
[マージン：円/リットル]



軽油（国内スポット価格 - 原油）

[原油・製品：円/リットル]

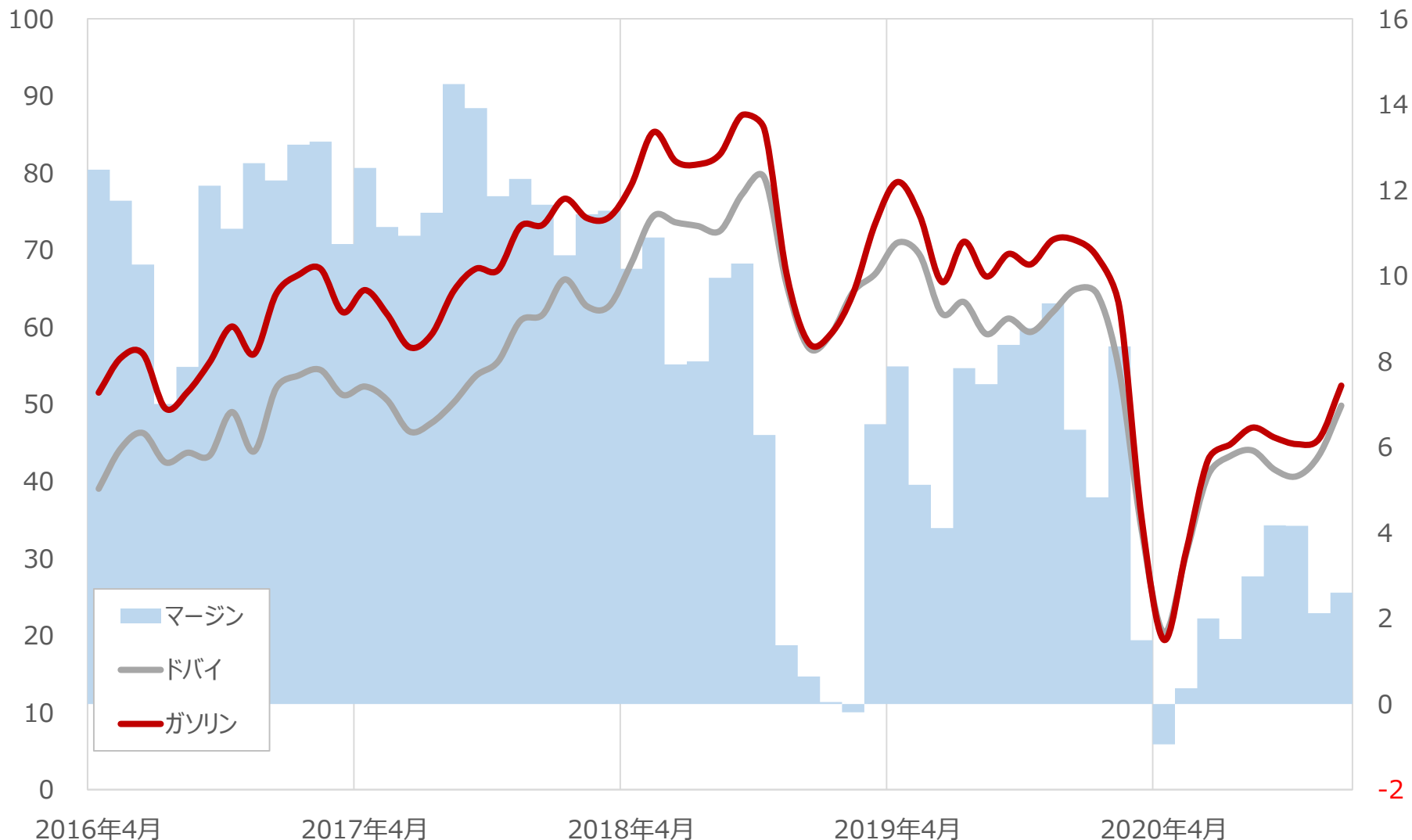
[マージン：円/リットル]



ガソリン（シンガポールスポット価格 - ドバイ原油）

[原油・製品：USD/バレル]

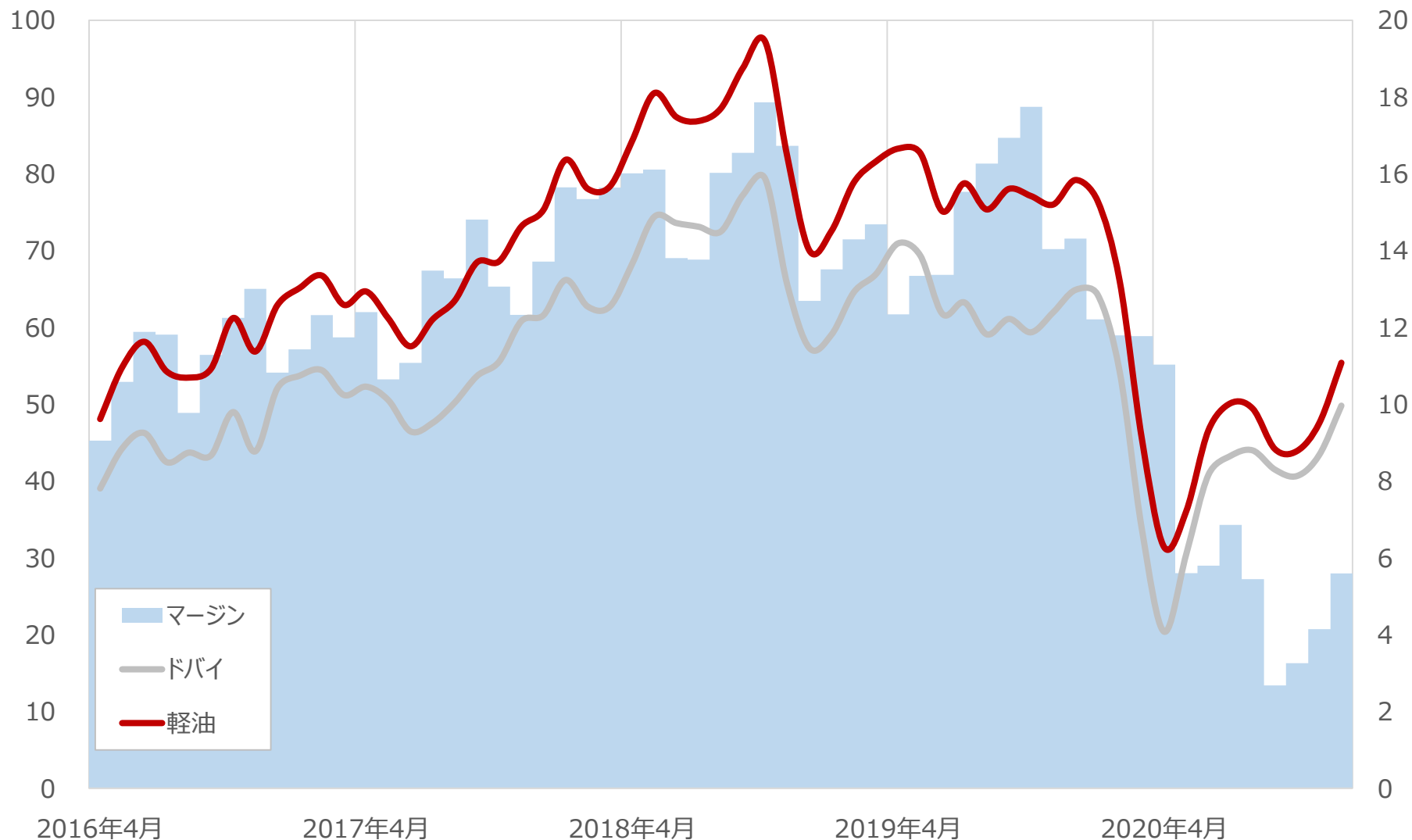
[マージン：USD/バレル]



軽油（シンガポールスポット価格 - ドバイ原油）

[原油・製品：USD/バレル]

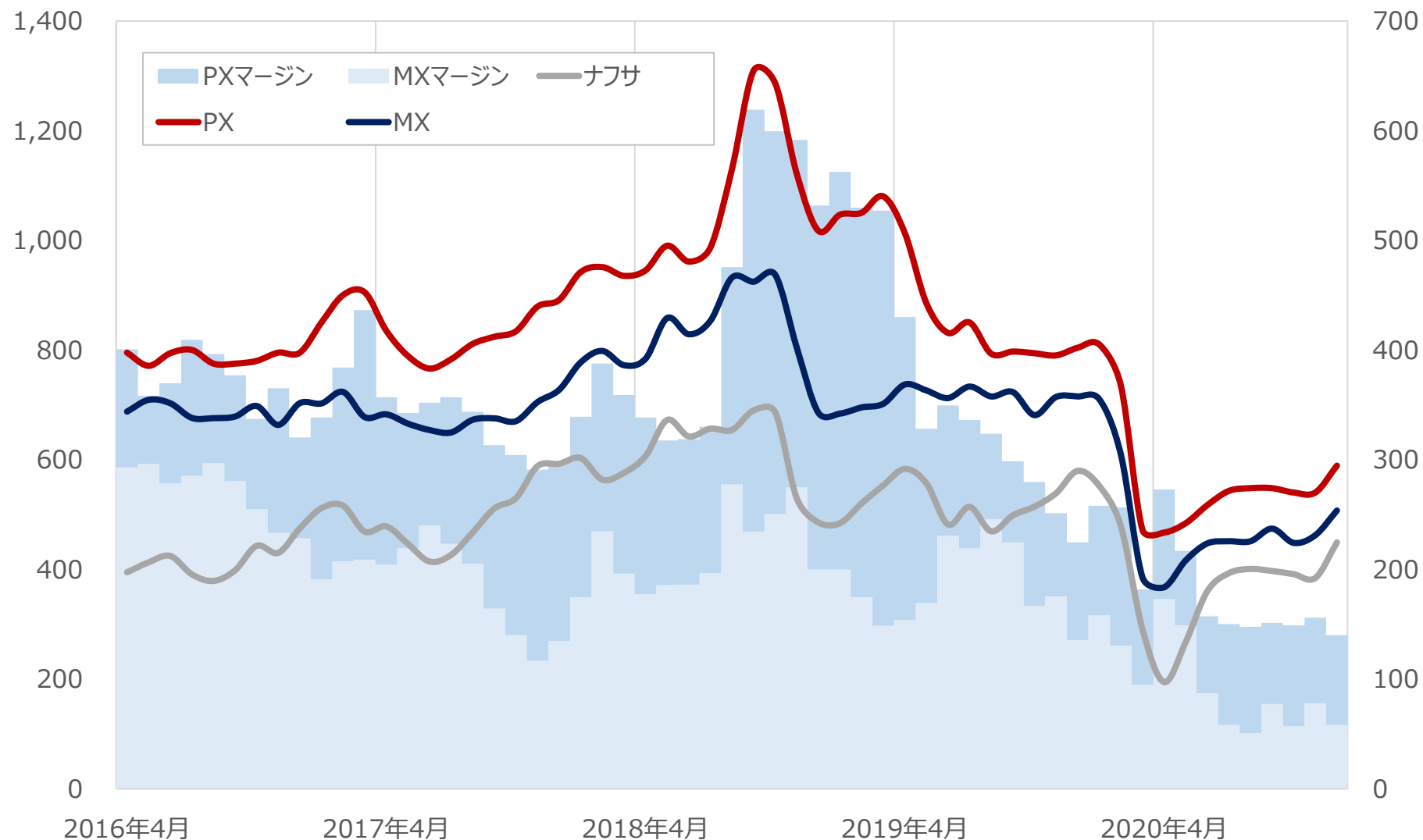
[マージン：USD/バレル]



パラキシレン・ミックスキシレン - ナフサ

[ナフサ・製品 : USD/トン]

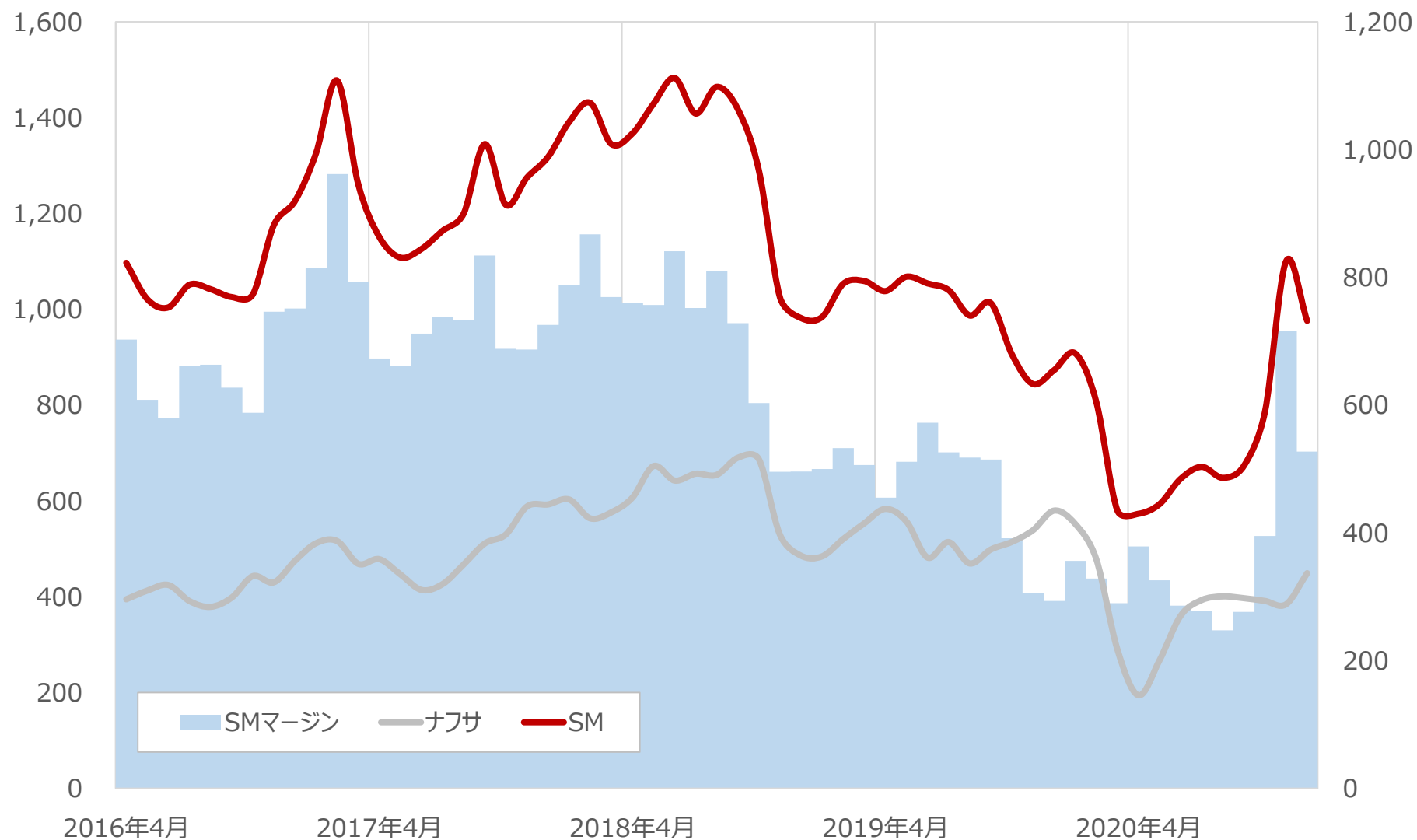
[マージン : USD/トン]



スチレンモノマー - ナフサ

[ナフサ・製品 : USD/トン]

[マージン : USD/トン]



オペレーショナルデータ

■ 製油所稼働率

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度3Q
出光興産	88%	88%	88%	87%	74%
旧昭和シェル	85%	88%	93%		

※稼働率はBCDベース

■ SS数

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度3Q
出光興産	3,589	3,545	3,501	3,446	3,430
旧昭和シェル	3,123	3,028	2,964	2,938	2,894
合計	6,712	6,573	6,465	6,384	6,324

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている当社の業績見通し、戦略、経営方針などのうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいて作成しております。

実際の業績に影響を与え得る要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向、市況、為替レートおよび金利など、潜在的风险や不確実性があるものを含んでおります。

従いまして、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。